

## ①株式会社いのさん農園

～ 紫宝の果実が都市と農山村・世界をつなぐ ～

◆国内観光 ◆6次産業化 ◆輸出



いのさん農園ブルーベリー観光農園



いのさん農園いちご観光農園



ブルーベリー狩りをしている様子

### 活動のきっかけ

温泉施設の誘客の一環として、誰もが楽しめるバリアフリーの観光農園を運営する(株)いのさん農園を設立。ポット栽培可能で健康につながるような農産物という視点からブルーベリーによる観光農園の経営を開始。夏期以外にも観光農園で楽しめるようイチゴも導入。

### 活動の概要

- ◇ブルーベリー観光農園の来場者から一年中いのさん農園のブルーベリーを食べたいと要望があり、6次産業化の総合化事業計画の認定を取得しジャム、ジュース等の商品を開発・販売。
- ◇車いすの方など誰もが楽しめるよう、アスファルト舗装面で、ポット栽培のブルーベリーの観光農園を運営、また夏季以外にも収穫できるイチゴ観光農園も運営。
- ◇猪の倉温泉や近畿日本鉄道(婚活等)、近隣のゴルフ場(婚活等)や宿泊施設と提携し、津市内を回るプランの提案や、冊子によるPR等により、滞在日数を伸ばす取組を実施。
- ◇2015年から生鮮品やジャム等の加工品を、台湾、香港、シンガポール、マレーシアに輸出。

### 活動の成果

- ◇猪の倉温泉、ブルーベリー、イチゴ園への誘客はリピーター客とその口コミによって、集客につながっている。加えて周辺の白山地域への県外、国外からの来客増加に寄与。
- ◇百貨店やホテル等で美味しさを知ったユーザーからジャム等のお中元利用が増加。
- ◇開発した6次産業化商品を取り扱う販売店が順調に増えて販売数も増加。
- ◇輸出商品を通じて、ブルーベリー観光農園やイチゴ観光農園に国外から来場。

### 問合せ先

〒515-2622 三重県津市白山町中ノ村148  
TEL:059-264-0550 FAX:059-262-4364

## ②認定特定非営利活動法人森林（もり）の風

～「まちのきこり人養成講座」～

◆自然・景観 ◆鳥獣被害防止



外部講師を招いて共に勉強会。レベルアップ講習会



間伐材の有効活用。搬出勉強会



地域の親子体験も活動の一つ

### 活動のきっかけ

水源の森保全活動は、全国的に広がっているが、森林整備の技術不足、境界確定、各種法律、林業のルール等を知らないために、地域とボランティア活動で多くのトラブルが発生。地域の再生には、安全な作業方法とマナールールを守る事が重要との判断で講座をスタートした。

### 活動の概要

- ◇「まちのきこり人育成講座」の実施。(基礎編)は安全な作業とマナールールを指導、年間8日間を受講。
- ◇レベルアップ講習会(応用編)の開催。一步上の技術及び知識習得の講習会。外部から専門家を招き、会員も共に勉強する年6回以上予定。依頼講習会(入門編)随時実施。
- ◇小学校の森林環境教育など企画運営。
- ◇企業のCSR活動における水源の森保全事業の推進(三重県で現在10カ所、3カ所準備中)。

### 活動の成果

- ◇「まちのきこり人育成講座」は、13年目を迎え、終了者は180人を超える。他府県からの受講者(愛知、神奈川、埼玉など)も増加。行政からの依頼もあり、他市町村でも開講。
- ◇活動する企業には、費用と年1回～2回の森林保全活動参加、会として安全指導及び森林勉強会の開催、地域の森林を守るための人材育成及び都市部の企業及び興味のある人を“森林の守り人”に育て地域活性をする。会として年間10ha程度の森林整備を進めている。

ホームページアドレス：<http://www.morinokaze.info/>

### 問合せ先

〒512-0933 三重県四日市市三滝台4丁目15番地7  
TEL:059-321-7719

### ③横輪町活性化委員会

～ 地域活性化に、じいやん・ばあやん大活躍！ ～

◆国内観光 ◆6次産業化 ◆高齢者の活躍



横輪いものPRにも高齢者が活躍



ガイドツアーに高齢者が活躍



横輪いも生産に  
高齢者が活躍

高齢者の知恵で「横輪  
いもかるかん」を試作

#### 活動のきっかけ

町存続の危機感から、78回もの会合を重ね「横輪町活性化計画」を作成。「地域資源の活用と交流・連携」をテーマに、地域経営の視点のもと、平成18年から交流人口の増加による活性化の活動を開始。

#### 活動の概要

- ◇「横輪桜」や冬季に激しく吹き抜ける強風から家屋を守るために発達した石垣の景観、特産の「横輪いも(山芋)」などの地域資源を活用した横輪ブランドを創出。
- ◇多様な団体との連携による「横輪桜まつり」等のイベントやガイドツアーに取り組み、また環境省の「子どもパークレンジャー」事業等を活用して交流人口の増加に取り組む。
- ◇平成25年に三重県、伊勢市、イオンリテール(株)と共に「伊勢の横輪いも推進協議会」を設立し、横輪いもの安定供給、6次産業化に取り組む。

#### 活動の成果

- ◇横輪いもの生産、ガイドツアーや子どもパークレンジャーの案内や指導を担当するなど、高齢者の積極的な活躍により、地域の高齢者の表情が明るく健康にも寄与。
- ◇横輪芋は、栽培の難しさや獣害など大きな課題を、伊勢の横輪いも推進協議会構成員の連携と生産者の地道な努力により解消し、販路の確保や商品開発などの取組が進んだ。
- ◇観光面では、従来の情報発信など待ちの誘客事業から、横輪芋の収穫体験など地域資源を活用したメニュー及び観光商品の開発、旅行会社との連携など攻めの誘客の仕組みを構築。

#### 問合せ先

〒516-1106 三重県伊勢市横輪町586番地  
TEL:0596-39-1741 FAX:0596-39-1741

## ④伊勢寺地域環境保全向上活動をする会

～ 農用地の保全向上と農村景観の形成 ～

◆自然・景観 ◆子ども ◆鳥獣被害防止



県道沿いに栽培した向日葵



児童・園児のオタマジャクシ観察会



防護柵設置共同作業

ため池外来魚駆除活動

### 活動のきっかけ

農道・用排水路等農業用施設の老朽化により、施設の修繕が課題となり、また獣害が深刻な状況となって営農を放棄する農地も増加し、平成19年4月に農地・農業用施設の保全に地域が一体となって取り組む「伊勢寺地域環境保全向上活動をする会」を設立。

### 活動の概要

- ◇共同作業による農道、用排水路等施設の軽微な補修や管理、地域内の清掃活動を実施。
- ◇小学校、幼稚園と連携、菜の花・コスモス観賞会、オタマジャクシ・ホタル観察会等を実施。
- ◇県道沿いの休耕田を活用し、菜の花、向日葵、コスモス、芝桜の植栽、農道に水仙を植栽。
- ◇5箇所のため池の外来魚駆除活動を実施。
- ◇獣害対策として、防護柵、電気柵の設置及び維持管理、捕獲活動を実施。
- ◇会報を発行し、活動状況等について地域住民に周知すると共に市外にも発信。

### 活動の成果

- ◇共同作業により農業用施設の長寿命化が図られると共に地域内の環境美化に寄与。
- ◇学校との連携により、地域の自然の豊かさを認識し地域を大切に思う教育の場を提供。
- ◇県道沿いの休耕田を活用し花を栽培することで、道行く人に対して憩いの場を提供。
- ◇ため池の外来魚駆除活動を行った結果、平成26年度以降外来魚の生息は確認されず。
- ◇ため池等の農業用用水を活用した防災訓練等を実施し、地域住民の防災意識が高揚。
- ◇会報を発行し、活動状況を市内外へ広報・PRしたことで当会への視察団が来訪。

### 問合せ先

〒515-0845 三重県松阪市伊勢寺町2005-1

TEL:0598-58-2295 FAX:0598-58-2295

## ⑤株式会社松阪協働ファーム

～いま400年の歴史が蘇る、松阪赤菜の復活!～

◆子ども(教育・体験) ◆6次産業化 ◆女性の活躍



松阪赤菜収穫体験の様子



松阪赤菜生産者とおにぎり作り



昔ながらの大豆収穫体験

### 活動のきっかけ

地域の農産物を給食の食材として届けていた学校より、農業体験が行いたいとの要望を受け、直売所の生産者組織と協働して、平成24年から毎年作物のテーマを決めて食農体験を開始。

### 活動の概要

- ◇平成25年と26年は大豆、平成27年度はさつま芋、平成28年度は松阪赤菜をテーマに教育ファームを実施。
- ◇農家と連携し、さつま芋の苗を配布し生産した芋は直売所で焼き芋として販売したり、規格外品はゼラートやスイーツの原材料として商品化。
- ◇地元の伝統野菜である松阪赤菜は、主に漬け物の原材料として栽培されいたが、生産拡大を目指し、様々なレシピの開発や漬け物以外の惣菜として加工し販売。

### 活動の成果

- ◇松阪赤菜は直売所に惣菜の活動拠点(店舗)が出来たこと、マスコミの取材や伊勢志摩サミットの食材として紹介されたことで一躍注目を浴びる。
- ◇松阪市原産地呼称管理制度(第1号)の認定を受け、首都圏の量販店や飲食店でも採用され、様々な料理にも活用の輪が広がったことから生産農家も数戸から平成28年には25戸に増加。
- ◇松阪赤菜関連商品は、漬け物中心の平成27年度は年間約100万円だったが、惣菜加工を始めたことで平成28年度は年間約500万円に増加。
- ◇教育ファームの認知度は年々高まり、平成28年度は約300人が参加。

### 問合せ先

〒515-0845 三重県松阪市伊勢寺町551-3  
TEL:0598-63-0050 FAX:0598-58-3712

## ⑥一般社団法人ひびき

～ 未利用農地を障がい者活躍の場に！ ～

◆医療・福祉 ◆都市農業 ◆その他(耕作放棄地の解消)



ストックの収穫作業



ポットへの土入れ作業



幼稚園児との交流(サツマイモ掘り)

### 活動のきっかけ

理事の一人が平成12年に自動車部品加工を行う就労継続支援A型事業所を開設したが、加工作業の苦手な障がい者も見られたため農作業部門に着目し、平成26年にB型事業所を開設。近隣の農家から耕作放棄地を借りて露地野菜を栽培するほか、地域の小中学生と農作業を通じた交流や、地域の方を対象に農業教室を開催している。

### 活動の概要

- ◇福祉農園の整備に取り組み、職員3名、利用者2名で耕作放棄地15aからスタート、農地管理の実績が評価されて農地を拡大、現在は職員9名、利用者17名で52aの農地を管理。
- ◇障がい者の自立支援に取り組み、元JA営農指導員や農芸高校の教員OBでジョブトレーナーの資格を持つ職員の助言を受けて、個々の利用者の特性に合った技術指導を行っている。
- ◇幼稚園児、小中生、高校生及び大学生の農作業体験を受け入れて農業の楽しさを感じていただくとともに、障がい者への理解を深めていただいている。

### 活動の成果

- ◇農業分野において、障がい者が出来る作業が実証でき、今後の取組の見通しが立った。また、耕作放棄地でのきちんとした営農が評価され、農地提供の申し出が増加し地域活性化に貢献している。
- ◇幼稚園児や小中学校の生徒等が農業体験することで、食育と障がい者への理解が深まった。
- ◇事業所の利用者が農業技術を習得することで農作物の売り上げが増え、工賃が向上。その結果働く意欲の向上と、園児・児童生徒等や近隣の人と一緒に農作業を行う中で社会性が向上した。

### 問合せ先

〒510-0304 三重県鈴鹿市郡山町1804番地の1  
TEL:059-389-6833 FAX:059-389-6834

## ⑦株式会社椿茶園

～ 茶産地で茶農家が淹れる本格的日本茶カフェ ～

◆「食」の提供・活用 ◆6次産業化 ◆地産地消



店舗外観



お茶バーカウンター



急須で丁寧に  
お茶をいれる



お茶収穫風景

### 活動のきっかけ

茶の消費低迷及び市場価格の低迷に、茶に更なる付加価値をつけた商品を開発・提供して経営の多角化及び付加価値化を図るため、鈴鹿山麓にある自園で栽培した茶葉を産地直販として生活必需品であるお茶の販売を行う。加えて、お客さんの目の前で、急須で丁寧に淹れるカフェを営業し、新たな客層、年代層の人たちへ向けて、茶の消費の拡大を図る取組を開始。

### 活動の概要

◇参拝客の多い椿大神社の参道に茶の直販とカフェ業務の行える店舗をオープン。バーカウンターがあるカフェ店舗で、日本茶インストラクターが、来店者の目の前で淹れることで鮮度や美味しさを感じてもらい、付加価値をつけている。

◇直販では、生活必需品としての需要のほか、お土産としてのギフト商品や、パッケージやネーミングにこだわった商品の提案などで、新たな客層の人たちに消費拡大を目指す。

◇鈴鹿市茶業組合が主催する「鈴鹿のお茶のお話会」にて鈴鹿市の茶業と美味しいお茶の淹れ方を教えている。

### 活動の成果

◇日本茶カフェという珍しい店舗だが、時の経過とともに認知され、新茶の出来た5月からは茶産地で採れた新茶を味わってほしいと、カフェの来店者が増えている。

◇カフェで飲んだお茶が美味しいと商品を買いたい来店者が増えた。特に若い方がお茶を買っていただけるのがとても嬉しい。

### 問合せ先

〒519-0315 三重県鈴鹿市山本町1795-1

TEL:059-371-1845 FAX:059-371-2344

## ⑧農事組合法人鈴鹿山麓NATURE

東海農政局選定

～ 女性が安心して、働きやすい職場 ～

◆女性の活躍 ◆高齢者の活躍 ◆その他(カラフル野菜の生産、販売)



マザーズライフサポーターのお母さんの作業風景



ボーイスカウトの農業体験



こども環境フェア

### 活動のきっかけ

高齢化や後継者不足により耕作放棄地が増えている中で、女性だけでも農業を続けていけないかと地域の主婦仲間に声掛けしてミニ野菜やカラフルな野菜などの多品種栽培を始める。

### 活動の概要

- ◇平成16年から野菜の直売に取り組み、作業負担の少ないミニ野菜やカラフルな野菜を栽培し、レストラン86社と個人宅配顧客200軒へ直売。
- ◇ホームページの開設による販売の増加、スタッフの増加により平成26年に農事組合法人設立。
- ◇ワークライフバランスを重視し「家庭が第一」の方針の下、無理のないフレキシブルな勤務体制を整備し、若いお母さんの働く一歩を踏み出すために働きやすい環境を提供。
- ◇地元中学校の職場体験や研修生の受入れを実施。
- ◇障がい者、高齢者、外国人も積極的に雇用し、スタッフとして一緒に作業に取り組む。

### 活動の成果

- ◇取引先のシェフの要望に応じて栽培品目を拡大、現在500種類の安全で良質な野菜を提供。
- ◇体への作業負担がかからない軽量の作物を栽培するとともに、無理のない勤務を推奨し、業務内容や作業場を工夫し、幼児がいる母親達、障がい者、高齢者に雇用の機会を提供。
- ◇学生や障がい者、母親達に体験の場を設けることで、多くの人に農業と食の大切さを認知。

### 問合せ先

〒519-0323 三重県鈴鹿市伊船町2704-2  
TEL:059-371-0414 FAX:059-371-0514